

2011.01.04「平成 23 年 年頭挨拶」

新年あけましておめでとうございます。参議院議員の西田昌司です。本年もよろしくお願いいたします。

さて、今年は卯年であります。卯年の「卯」という字、この字は実は「門」という字と通ずると言われています。つまり、押し開けていく、新しい時代を切り開いた所に草木が茂っていくという意味になるそうであります。今年はそのように新しい時代を切り開く一年にしたいと思っております。また、卯の時、卯の刻というのは午前六時前後でして、正卯、しょうぼうと読むのですが、この正卯は夜明け前の一番暗い時間という意味も持つそうです。

一昨年の政権交代から民主党政権が誕生して一年が経とうとしています。いよいよ日本が自滅壊滅に向かっていく、まさに国自体の先行きが見えない、非常に真っ暗な時代になっていますが、「今は夜明け前の暗さだけでも、我々は勇気を持ってこの門を押し開いて進んで行くことにより、新しい時代を築くことができるのだ」と、そういう決意で頑張っていきたいと思っております。

しかし、そのためには、以前から私が主張していますように、戦後政治の問題点そのものを見つめ直さなければなりません。民主党政権の蹉跌というのは、結局、自分達の国を自分達で守る一番肝心なことをずっと棚上げにしてきた結果であり、その責任の一端はもちろん自民党にもあります。しかし、自民党が政権を持っていた時代は中国がこれほどまでにあからさまな領土的野心を見

せることはありませんでした。今、民主党の時代になって領土的野心を示し、経済力、軍事力でも日本を圧倒するようになってきました。この期に及んで、まだ自分達の国を守るという肝心なことを無視し、決意も覚悟も示さずにアTPPに飛びついてアメリカによって自分達の国を守っていかうというのは問題外です。

また、この正月の間に前原外務大臣が韓国との安全保障条約に言及したようです。その後、外務省は否定しておりますけれども、これは全くのお笑い沙汰でありまして、日本と韓国が同盟関係を築けるはずがないのです。それは竹島との領土問題があるからだけではなく、韓国と同盟を結んでしまうと、韓国が抱える北朝鮮問題をそのまま日本が引き受けることになるからです。こんな荒唐無稽なことを考えるということ自体が、この政権に時代認識が全く無いということを改めて示しています。こうしたことをさせないために、私達自民党がもう一度政権を取り戻す必要があります。そして民主党政権から一日も早く政権を奪回するためにも、私達自民党自身が、今私が申し上げました、戦後体制からの脱却を目指して新たな門を開く、そういう年にできる卯年にしたいと思っています。今年も皆様方のご支援よろしくお願い申し上げまして、新年冒頭のビデオレターとしたいと思います。

ありがとうございました。